

10/13/2024

全保険者対象

患者が払う医療費の窓口負担額がマイナンバー化一元化などで確認する「オンライン資格確認システム」

に誤って登録されている問題で、厚生労働省は誤登録の原因となりた8パターンを示し、約3400の金庫を監査に同様の事例がないか点検を求めていたことが本

紙の取材で分かりました。
11月10日既に記入し、課
登録データ修正した件数
を報ずるよう求めています。

窓口負担割合誤登録
点検結果公表は必須

厚労省調査

そもそもBパターン以外で誤登録が起きていないのかも不明で、誤登録問題の全容は未解明です。負担割合が券面に明記された従来の健康保険証の存続は欠かせません。(内藤眞弓子)

そもそもBパターン以外で誤登録が起きていないのかも不明で、誤登録問題の全容は未解明です。負担割合が券面に明記された従来の健康保険証の存続は欠かせません。（内藤眞弓子）

一方、同省は点検結果の月29日の社会保障審議会で、「決めていた」と公表について、「（保険局高齢者医療課）も示と連絡などして貰うべき」としておらず、貿易部会の「誤登録」が発覚し、一タ修正されたる8パターンを例示して、「検定方法」も示してしまった。誤登録があった場合は、窓口貿易割合や、高額療養

「業務処理が行われていた」「同様の事象が生じ得るシステムになつていない(負担割合等の誤りなし)」と判断した場合、点検結果の回答